

みずほCustomer Desk Report 2020/02/05号(As of 2020/02/04)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.64
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.62	1.1063	120.14	1.2996	0.6690
SYD-NY High	109.54	1.1064	120.98	1.3046	0.6742
SYD-NY Low	108.55	1.1033	120.09	1.2942	0.6679
NY 5:00 PM	109.53	1.1044	120.97	1.3030	0.6738
NY DOW	28,807.63	407.82	日本2年債	-0.150	1.00bp
NASDAQ	9,467.97	194.57	日本10年債	-0.050	1.00bp
S&P	3,297.59	48.67	米国2年債	1.4130	5.70bp
日経平均	23,084.59	112.65	米国5年債	1.4214	7.32bp
TOPIX	1,684.24	11.58	米国10年債	1.6017	7.71bp
シカゴ日経先物	23,395.00	520.00	独10年債	-0.4000	4.45bp
ロンドンFT	7,439.82	113.51	英10年債	0.5640	5.15bp
DAX	13,281.74	236.55	豪10年債	0.9040	▲1.40bp
ハンセン指数	26,675.98	319.00	USDJPY 1M Vol	4.96	▲0.53%
上海総合	2,783.29	36.68	USDJPY 3M Vol	5.12	▲0.46%
NY金	1,555.50	▲26.90	USDJPY 6M Vol	5.36	▲0.34%
WTI	49.45	▲0.66	USDJPY 1M 25RR	-1.25	Yen Call Over
CRB指数	167.93	▲0.12	EURJPY 3M Vol	5.68	▲0.39%
ドルインデックス	97.95	0.15	EURJPY 6M Vol	6.01	▲0.14%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月4日	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	12月 0%/-0.7%	0%/-0.7%
2月5日	00:00	米 製造業受注(前月比)	12月 1.8%	1.2%
	00:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	12月 2.4%	2.4%

【本日の予定】

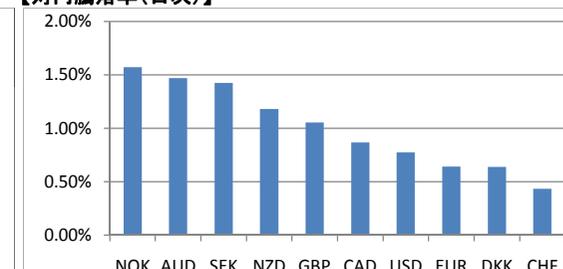
Date	Time	Event	予想	前回
2月5日	19:00	欧 小売売上高(前月比)	12月 -1.1%	1.0%
	22:15	米 ADP雇用統計	1月 158k	202k
	22:30	米 貿易収支	12月 -\$48.2b	-\$43.1b
2月6日	00:00	米 ISM非製造業指数	1月 55.1	54.9

東京	東京時間のドル円は108.62レベルでオープン。春節明けに売られた中国株にも一服感が見られ、アジア株全般がプラス圏に推移。前日の米経済指標が良好だったことも相俟って、リスクセンチメントが改善したことから、ドル円は堅調に推移し108.84レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.84レベルでオープン。特段の新規材料はなくアジア時間からの上昇が継続。109円台を回復すると一時109.14円まで上昇し同水準でNYに渡った。ポンドは、1.3017レベルでオープン。立ち上がりからドル高に押され1.2942まで下落したが、英1月建設業PMIが予想を上回ると1.3026まで買い戻され、ほぼ変わらずの1.3012レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ニューヨーク市場のドル円は109.14レベルでオープン。朝方は外ロー米NEC委員長が「コロナウイルスによる米国経済への影響は最小」と述べたほか、米12月製造業受注が前月比で予想を上回る中、ドル高円安の地合いが継続した。その後、ダウ平均が一時500ドル超の上げ幅を見せる中、ドル円はじりじりと上昇を続け、1月24日以来の109.50台に乗せとなる。午後は米金利や米株の上昇が一服しながらも上げ幅を維持する中、ドル円も高値圏でしっかり。終盤にかけて高値109.54をつけ、109.53レベルでクローズ。一方、ユーロドルは、1.1044レベルでNYオープン。朝方は米株や米金利の上昇を受けて、ドル買い優勢の展開となり、1.1033までじりじりと下落。しかし、ユーロ売りの手がかり材料も特段見当たらない中、この水準で下げ止まる。午後から終盤にかけては、1.1040近辺で小動きとなり、結局、1.1044レベルでクローズ。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】一斉に悲観に傾いた様子では無いが...上値も限定的。

新型コロナウイルスによる肺炎拡大を警戒したリスクオフムードが続いていたが、マーケットは一斉に悲観に傾いた様子はない。ダウ工業株30種平均に関しては1月31日に約5か月ぶりの下げ幅(約603ドル)を記録したが、これは週末に肺炎関連の悪材料が出ることに備えた売りが優勢だったためと見られる。寧ろ、週明けからFRBへの緩和期待から株式市場では押し目買いにより力強く反発。昨日はダウ先物の反発に加え、中国経済の景気減速懸念から利下げを警戒されていたRBAが、政策金利を0.75%に据え置いたことで、AUDが買い戻されクロス円も上昇。ドル円も109円台を回復。

ただ、肺炎拡大の終息が見える様子も無く、中国の工場稼働停止等による世界経済への影響も未だ不透明の中、ドル円を積極的に買い様子は限定的。多くの本邦勢は様子見姿勢が強く、気が付いたらドル円は109円台半ば迄水準を戻したと言ったところだろう。1月のFRBを受けた利下げへの警戒感を背景にドル円の上値は限定的と考えているが、一時的なショートカバーによる上昇には注意したい。

ドル円のチャートに目をやると、一目均衡表(日足)の雲を月初は下抜けていたが、昨日の1円程度の買い戻しにより、しっかりと上抜けた。年初の本欄に記載した、18年に幾度もドル円の下値をサポートした100日移動平均が(4日:108.70)下値の目安として機能した形となった。引き続きドル円の下支えとして機能するかには注目したい。(大庭)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

■今週のドル/円 見直し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル
								ブル	ベア
								11	9